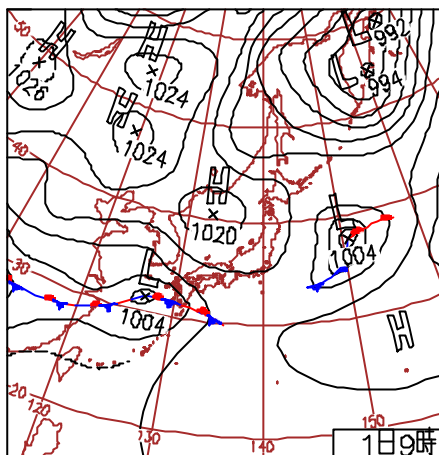


日々の天気図

No. 15

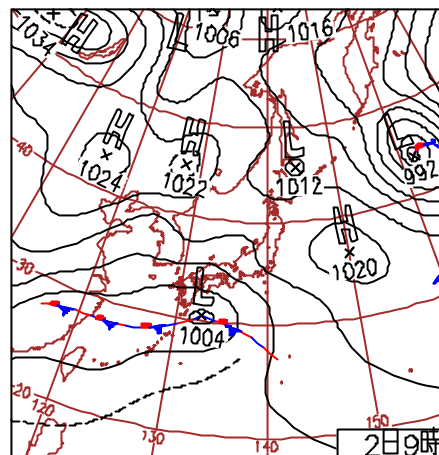
2003年 4月

- ・4~5日、東・西日本の太平洋側で大雨。三宅島阿古で降水量147mm。
- ・5日、関東北部と甲信地方の一部で大雪。河口湖で23cmの積雪。
- ・8日、岐阜県と静岡県の一部で100mmを越える日降水量を観測。
- ・30日、低気圧と寒冷前線により、全国的に雨。富山県宇奈で日降水量84mm。



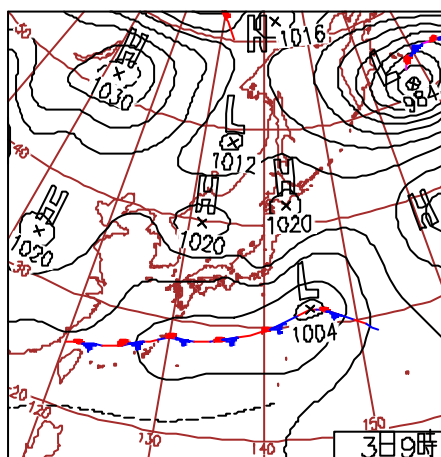
1日(火)東京で桜満開

九州の西に発達した低気圧があり九州、四国地方は朝から雨。東・北日本は概ね晴れるが、関東地方は沿岸部を中心に雲が広がる。横浜・甲府・広島・下関でも桜満開。



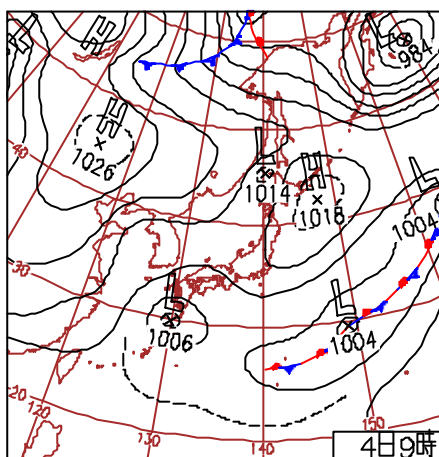
2日(水)桜には冷たい雨

本州南岸を前線を伴った低気圧が東進。その影響で東北以南は雨が曇り。東京では夜明け頃から降りだし、弱いながらも終日雨。



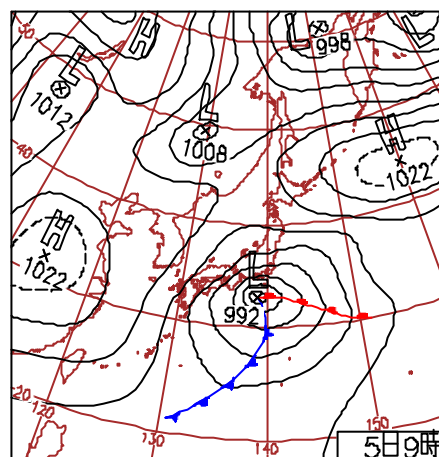
3日(木)九州南部で天気ぐずつく

南海上では前線が停滞。四国から九州にかけて雲が多く、今日も九州南部では時々雨。高気圧に覆われた北日本では概ね晴れ。豊岡・舞鶴・金沢で桜の開花。



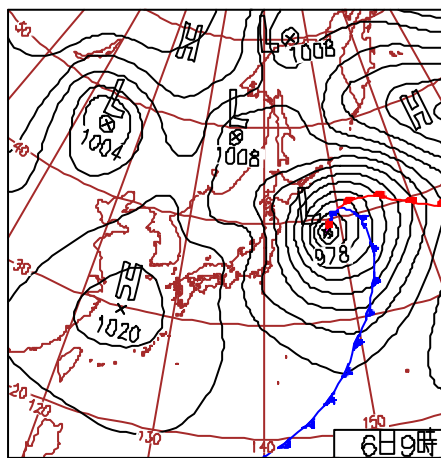
4日(金)京都、奈良で桜満開

九州の南に発生した低気圧が日本の南岸を東進。雨域も西日本から広がり、関東地方は夜遅くに降り始める。高知県清水で日降水量130.5mm。日中の気温は平年より低め。



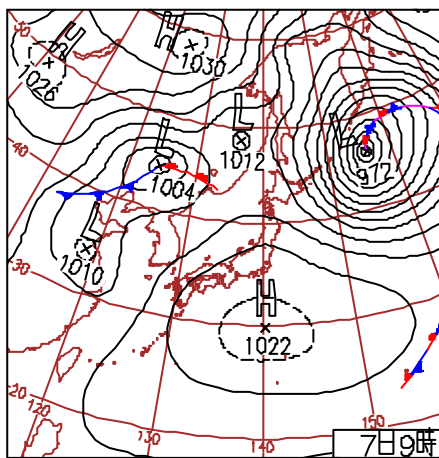
5日(土)関東北部・甲信で大雪

南岸を発達中の低気圧が東進。寒気流入し、関東北部・甲信の一部で大雪。河口湖で23cm積雪、4月の記録第3位。東・西日本では50mm前後の大雨と強風。三宅島阿古で147mm。



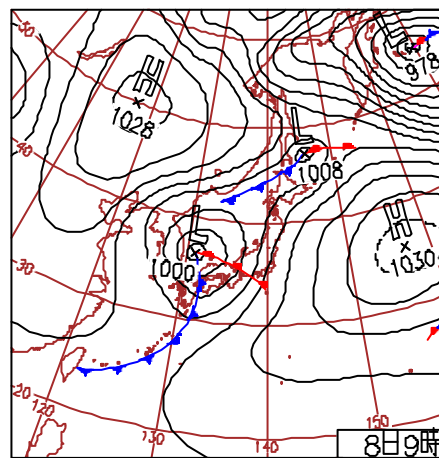
6日(日)沖縄で海開き

日本の東にある低気圧は引き続き発達。また西から高気圧が張り出し、北海道を除き全国的に晴れ間が広がる。沖縄本島や宮古島で海開きが行われ初泳ぎを楽しむ人も。



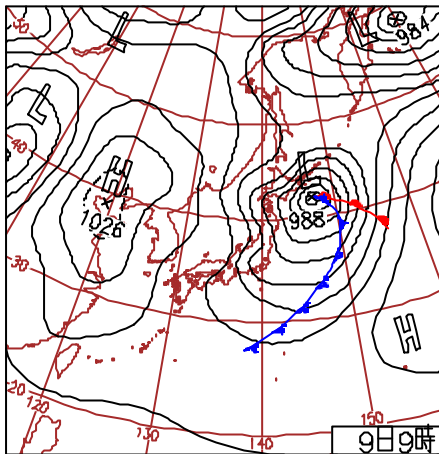
7日(月)もんしろうちょう初見

南海上の高気圧に覆われ全国的に晴れ。西日本から次第に雲広がる。気温上昇し穏やかな陽気。熊谷では、もんしろうちょうの初見。東京では最小湿度9%、4月の記録を更新。



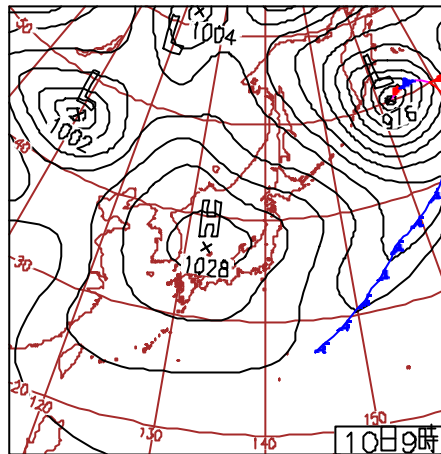
8日(火)岐阜・静岡で大雨

前線を伴った低気圧が日本海を東進。各地で強風と大雨。最大瞬間風速が松江で30.4m/s、敦賀で29.2m/s。岐阜と静岡県で日降水量が100mm以上。関東で明け方に震度3の地震。



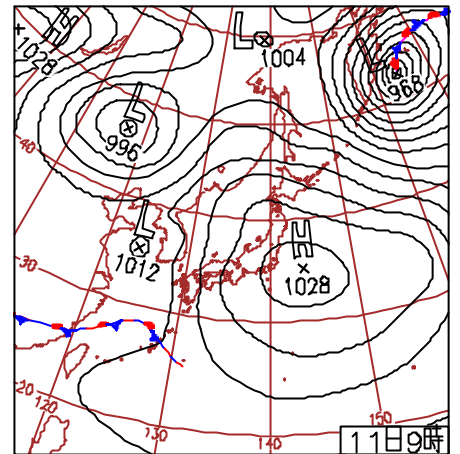
9日 (水) 各地で強風

発達中の低気圧が北海道を通過し、一時的に冬型の気圧配置。北海道の所々で雪、日本海側では雨。太平洋側では夕方に所々で雨。東海からでは北では強風。仙台で桜満開。



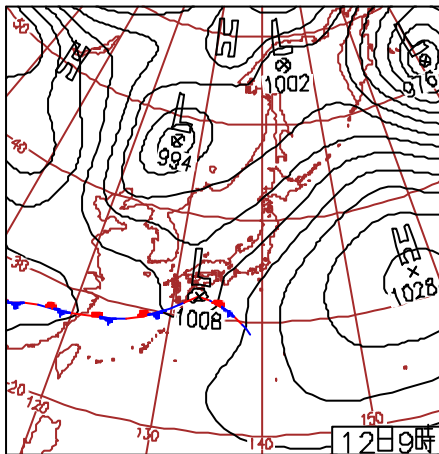
10日 (木) 全国的にほぼ晴れ

日本全体が大きな移動性高気圧に覆われ、全国的に晴れ。朝方、各地で放射冷却現象により冷え込んだ。桜前線は佐渡島まで北上。大島では平年より12日早く、やまつつじが開花。



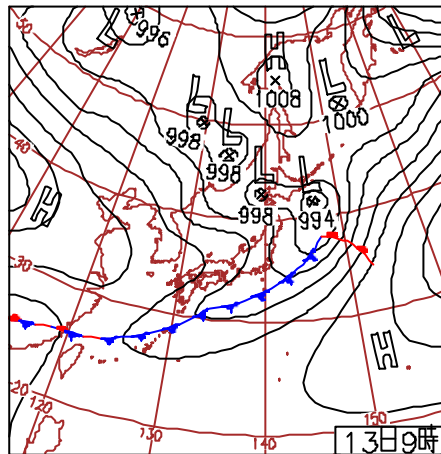
11日 (金) 台風第2号発生

高気圧の中心が東海上へ進み、大陸から東シナ海に伸びる前線が発生。九州は朝のうちから雨。9時にマーシャル諸島で台風第2号発生。大阪市の造幣局で「桜の通り抜け」始まる。



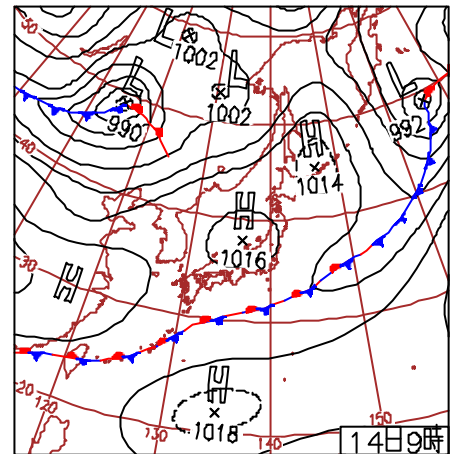
12日 (土) 全国的にくずつく

日本付近は高気圧が東に去り、大陸から前線が延び、前線上の九州西で発生した低気圧を含む気圧の谷に入り、全国的に曇りや雨の所多くなる。関東では午後から雨となる。



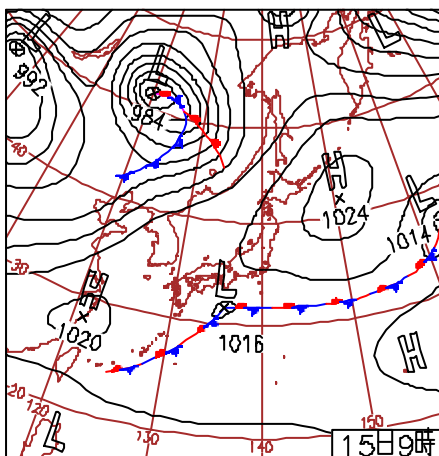
13日 (日) 統一地方選挙

北海道を除く各地では西からの高気圧の張り出しにより概ね晴れ。最高気温は、北海道を除いて平年より高く、西表島で30.1の真夏日。西日本を中心に黄砂を観測。



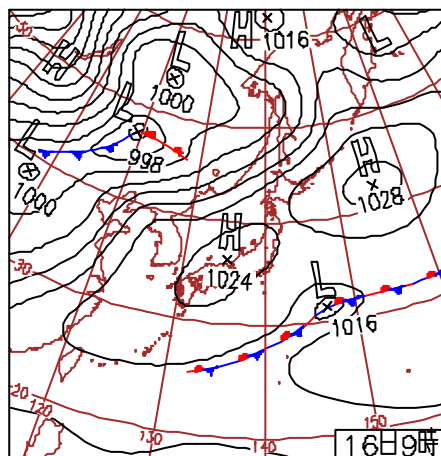
14日 (月) 全国的に曇天

南海上に前線が停滞し、全国的に曇天。九州では弱い気圧の谷があり、その影響で西日本の太平洋側で所により雨。前線付近の沖縄では1時間12mmのやや強い雨。



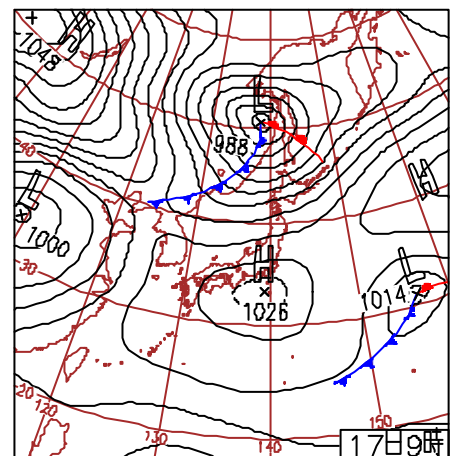
15日 (火) 四国～関東で冷たい雨

四国付近の前線上に発生した低気圧の東進に伴い、関東以西の太平洋側では雨や曇り、北海道から北陸にかけては高気圧に覆われ晴れ。鳥取で平年より8日早くやまつつじ開花。



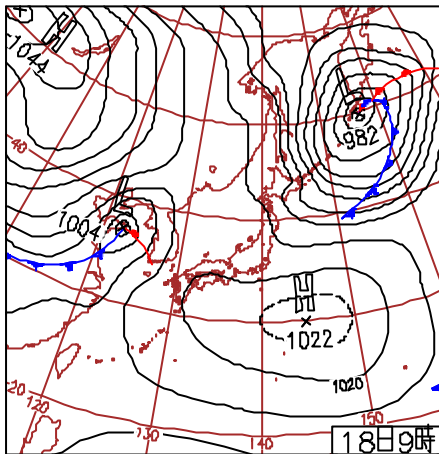
16日 (水) 西日本で夏日

北海道の一部で霧雨の他は日本付近は広く移動性高気圧におおわれ、全国的に晴れ。気温も上昇し、京都や佐賀、熊本では夏日。秋田・盛岡で桜開花。

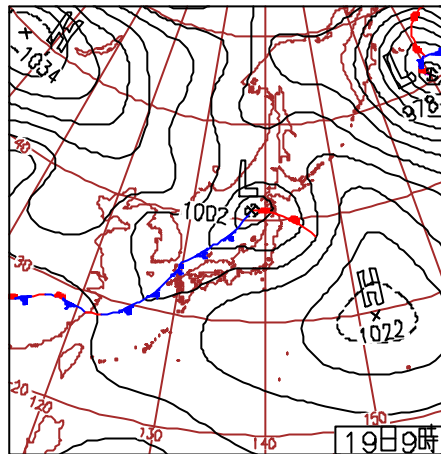


17日 (木) 全国的に昇温

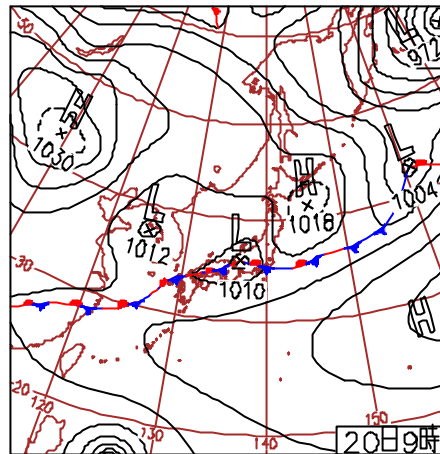
大きな移動性高気圧に覆われて全国的に晴れ。北海道の北を前線を伴った低気圧が通り、日本海側を中心にフェーン現象で7月並の最高気温。福島(28.9)舞鶴(28.8)等。



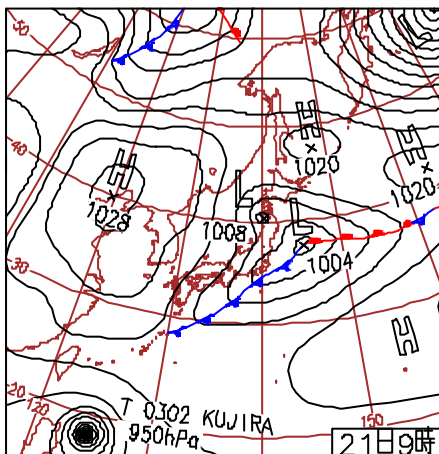
18日(金)甲信・東海で真夏日
 本州南海上に高気圧が移動したが、依然広く日本を覆い晴れや薄曇り。特に関東・甲信、東海の所々で今季初めての真夏日、最高気温が飯田で31.1、甲府で30.2等。



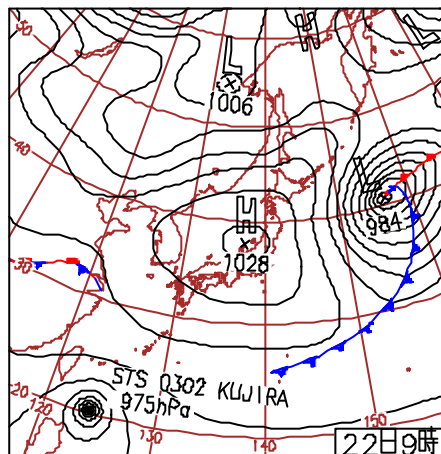
19日(土)寒冷前線ゆっくり南下
 高温をもたらした高気圧は東へ移動し、寒冷前線が日本海から南下。沖縄地方を除いて全国的に所々で雨。東海・関東沿岸部では一時南西風強まり、網代で29.6m/sの最大瞬間風速。



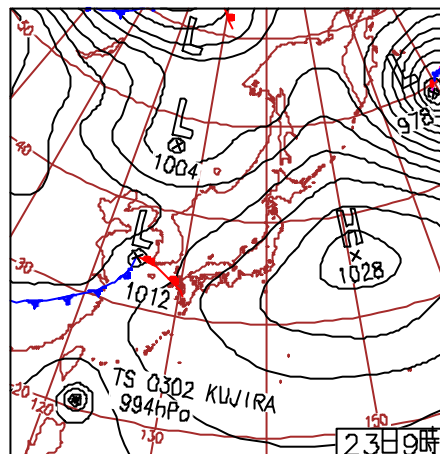
20日(日)穀雨の東・西日本
 前線が関東を通り九州北部へ延び、前線付近では雨。前線の北側では日中の気温が上がらず、福島では平年に比べ約10低い。一方、尾鷲では30.3の真夏日。



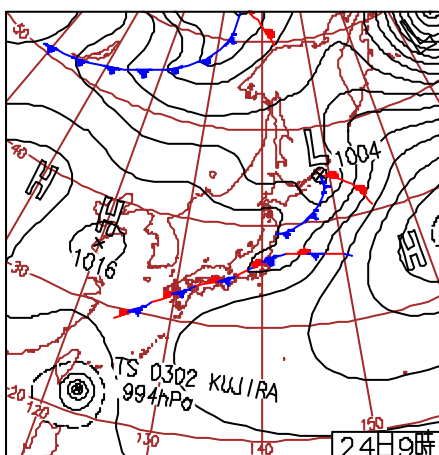
21日(月)茨城県で震度4の地震
 移動性高気圧が次第に日本に張り出し、低気圧や前線の影響で雨や曇りの所も次第に天気回復。寒気の強い北海道や青森県では雪やみぞれを観測。茨城県日立で震度4の地震。



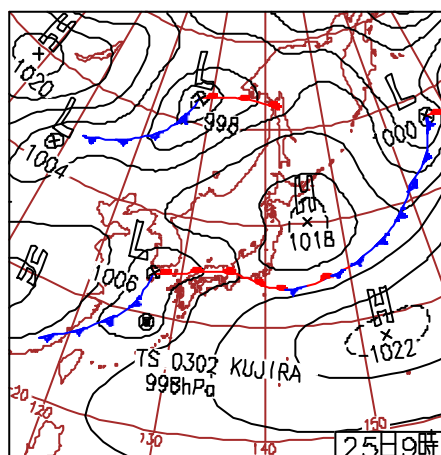
22日(火)愛称は「ポンツッコーズ」
 「ひまわり5号の代替GOES9号は準備完了」と「運輸多目的衛星の打ち上げ延期」の話題が交錯。天気は移動性高気圧に覆われ、全国的に晴れ。



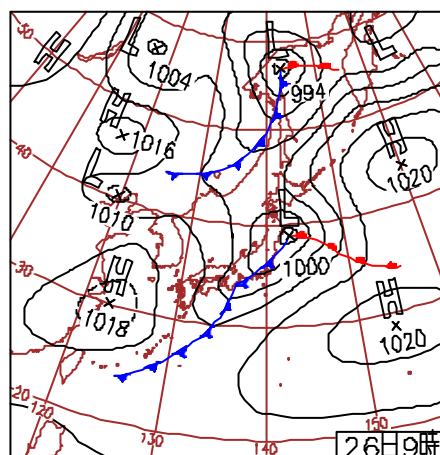
23日(水)日本海側を中心に雨
 高気圧が東に去り、朝鮮半島付近に中心を持つ前線を伴った低気圧が東進。特に東・西日本の日本海側では終日雨の所多い。室蘭・浦河でタンポポが開花。



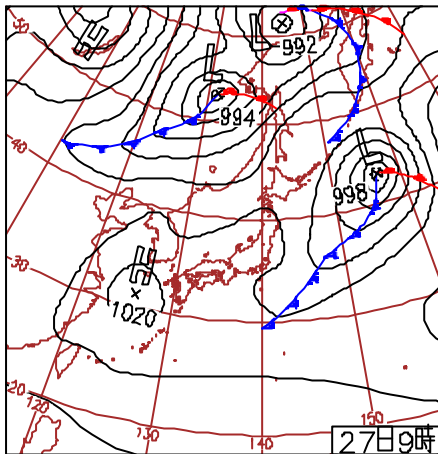
24日(木)西日本で局地的に大雨
 日本付近に前線が停滞。前線付近では曇りや雨の所が多い。特に西日本では前線の活動が活発で、熊本県鞍岳で24時間降水量139mmを観測。



25日(金)台風2号熱低化
 引き続き九州北部に前線停滞、全国的に曇りや雨の所多い。南西諸島では台風第2号が熱低化するも、影響で風雨強い。高知県馬路村で90mm、長崎県上対馬町で87mmの日降水量。

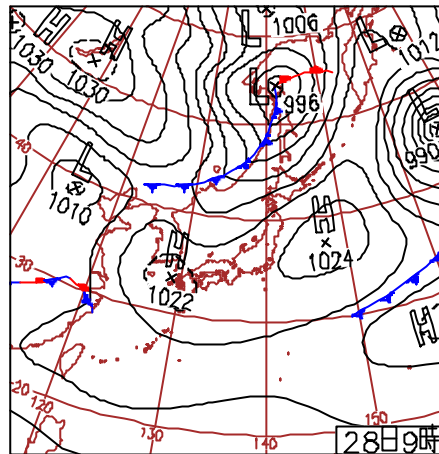


26日(土)寒冷前線通過
 発達中の低気圧から伸びる前線が本州を通過。東日本では朝の内所々で1時間に20~30mmの強い雨。暖かい風が入った関東甲信地方は気温上昇、甲府は31.9で4月の記録更新。



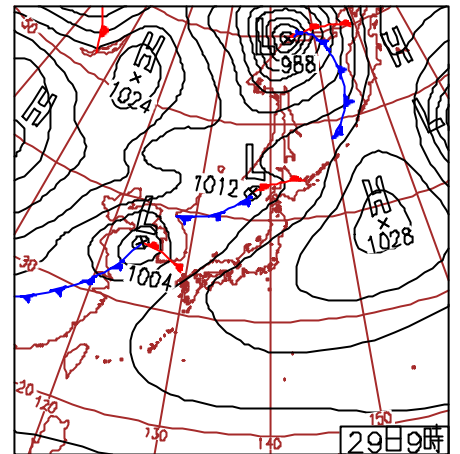
27日(日) 青森で桜満開

移動性高気圧に次第に覆われるようになり、関東や東北地方の太平洋側の雲も午前中に取れて、全国的に晴れの天気。特に北日本では気温も6月上旬程度まで上がり、青森で桜満開。



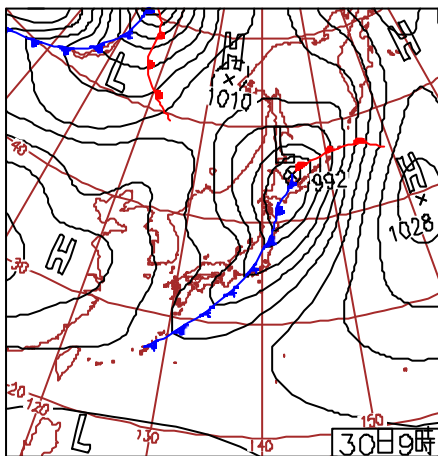
28日(月) 桜前線が北海道に上陸

北海道は前線の影響で所々雨、東西日本では移動性高気圧に覆われ概ね晴れ。気温は全国的に平年より高い。函館で桜の開花、平年より5日早い。函館と江差で梅の開花。



29日(火) 日本海側でフェーン

関東以西は広く高気圧に覆われ晴天。気温は全般に平年より高く、日本海側ではフェーンによる昇温。富山で29.8。黄海には低気圧が東進し、日本海では雲バンドが顕在化。



30日(水) 宇奈月で84mmを記録

急激に発達中の低気圧から延びる寒冷前線が日本列島を通過。各地で雨や強風となり、根室で最大瞬間風速28.6m/sを観測。富山県宇奈月では日降水量84mmと4月の記録を更新。